

IV 産業・経済

1 観光産業

観光施設の維持管理

1,763万円

(担当：商工観光課商工観光係)

町が所有する観光施設を適切に維持するための経費です。今後も利用するみなさんが快適に利用できるよう、適正に維持管理を行います。

[町が管理する施設]

- ・五色温泉休憩所、ニセコ野営場
- ・ニセコ駅（一部）
- ・温泉源
- ・ニセコビュープラザ
- ・鳥観図 など

※綺羅乃湯は指定管理者制度を導入し、運営会社が料金収入で管理経費を賄っています

主な経費

主な費用	
委託料	682万円
光熱水費	664万円
工事請負費	90万円
消耗品	125万円
保険料	69万円
手数料	56万円
その他	77万円



道の駅ニセコビュープラザ

観光案内所の運営

847万円

(担当：商工観光課商工観光係)

町の玄関口である道の駅ニセコビュープラザとJRニセコ駅に観光案内所を開設し、町を訪れる観光客に対してきめ細やかな情報提供を行います。

主な経費

委託料	847万円
-----	-------

観光振興事業の支援

164万円

(担当：商工観光課商工観光係)

町では、団体などが行う観光振興を目的とした事業に対して、その経費の一部を助成しています。

[事業]

- ・ニセコ山開き（6月上旬）
- ・観光道路の美化（花植え）（6月上旬）
- ・七夕の夕べ（8月上旬）
- ・SLニセコの運行（9月下旬～11月上旬）

主な経費

花苗・肥料等（観光道路美化）	35万円
補助金（ニセコ山開き、七夕の夕べ）	114万円
負担金（SLニセコ号運行協議会）	15万円

IV 産業・経済

1 観光産業

観光振興に係る連携事業 106万円

(担当：商工観光課商工観光係)

観光地は一自治体だけで成り立つものではありません。関係団体などが広く連携し地域の魅力を高めていかなければなりません。町では、さまざまな団体と連携し、ニセコエリアに限らず、後志、そして北海道全体の観光が発展していくよう取り組んでいます。

主な経費

各団体への負担金 106万円

【内訳】

- ・北海道観光振興機構 (45万円)
- ・後志観光連盟 (12万円)
- ・ニセコ山系観光連絡協議会 (16万円)
- ・羊蹄山管理保全連絡協議会 (22万円)
- ・その他の団体 (11万円)

観光PR資料の作成 584万円

(担当：商工観光課商工観光係)

多くの人にニセコ町の魅力を知ってもらい、来町するきっかけとなるよう観光PRに使用する資料を作成します。

- ・ニセコ町観光パンフレット 2万部
- ・外国語版パンフレット 各5,000部
(英語、韓国語、中国語、中国語〔台湾版〕)
- ・ニセコエクスプレス(ニセコ山系) 7,000部
- ・イメージ映像(DVD) 1,000枚
- ・観光PR用ロゴ

主な経費

消耗品費(観光パンフレット購入費) 271万円
印刷製本費(外国語版パンフレット) 160万円
委託料(映像、ロゴ) 153万円

外国人観光客誘致事業補助 100万円

(担当：商工観光課商工観光係)

ニセコエリアは国内はもとより諸外国からも注目され、訪れる外国人観光客は年々増加しています。しかし、世界的な経済危機や為替の変動など、観光を取り巻く環境は厳しさを増しています。このような中、観光地として生き残っていくためには誘客活動が重要であり、ニセコリゾート観光協会が中心となって積極的に取り組みます。町ではこれらの活動に係る事業経費の一部を補助します。

主な経費

補助金 100万円

教育旅行誘致事業補助 50万円

(担当：商工観光課商工観光係)

修学旅行などの教育旅行は、少子化による生徒数の減少や地方空港を発着する航空機の小型化により団体行動が制約されるなど大きな転換期を迎えています。

そのため、これまでの対応が厳しくなる反面、新たなニーズが生まれると予想されます。そこで、ニセコリゾート観光協会では教育旅行に特化したニセコエリアの詳細情報を取りまとめ、ホームページなどで積極的に発信し、教育旅行の取り込みを図ります。町ではこれらの事業にかかる費用の一部を補助します。

主な経費

補助金 50万円

IV 産業・経済

1 観光産業

観光大使の設置 5万円

(担当：商工観光課商工観光係)

町では、ニセコ町を町外から応援してくれる人を観光大使として任命しています。現在は、成瀬瞭さん（元ホテル日航アンヌプリ社長）、林家木久扇さん（落語家 テレビ番組「笑点」などに出演）の2人に観光大使として活躍していただいています。

なお、観光大使の主な活動は、さまざまな場所でニセコ町の魅力をPRすることや、ニセコ町の観光振興やまちづくりに対して積極的に提言をすることです。

主な経費

消耗品 4万円
全国ふるさと大使連絡会議負担金 1万円



なるせ あきら
成瀬 瞭さん



はやしやきくおう
林家木久扇さん

観光地の安全対策 15万円

(担当：商工観光課商工観光係)

町では雪崩による事故を防止し、ニセコを訪れるスキー客の安全を確保するため、雪崩情報の提供など組織的に行っているニセコアンヌプリ地区なだれ事故防止対策協議会の活動費の一部を負担します。

主な経費

負担金 15万円

観光審議会の開催 8万円

(担当：商工観光課商工観光係)

町では観光施策を円滑に進めるため、町長の附属機関として観光審議会を設置しています。

観光審議会では観光や経済の関係者のほか、町民のみなさんなどが参加し、さまざまな目線で議論を行っています。

主な経費

委員報酬 7万円
費用弁償 1万円

観光を担う人材の育成 6万円

(担当：商工観光課商工観光係)

人材育成は、持続可能な地域観光を確立するために重要な事業です。町では、今後の観光振興を担う人材を育成するため、研修などへの参加費を補助します。

主な経費

補助金 6万円

国際会議開催の支援 35万円

(担当：商工観光課商工観光係)

今年度ニセコ町内で開催される日豪観光交流促進協議会を成功させるため、実行委員会が行う歓迎事業費に対して補助をします。

主な経費

補助金 35万円